

平成30年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年3月12日

上場会社名 株式会社ウイルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7831 URL <http://www.wellco-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 若林裕紀子
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部部長代理 (氏名) 林岳志 (TEL) 076-277-9831
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第1四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第1四半期	3,733	△13.5	△115	—	△204	—	△203	—
29年10月期第1四半期	4,314	38.8	75	192.5	112	571.3	90	—

(注) 包括利益 30年10月期第1四半期 △196百万円(—%) 29年10月期第1四半期 193百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第1四半期	△8.26	—
29年10月期第1四半期	3.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第1四半期	15,800	6,251	39.5
29年10月期	16,452	6,546	39.8

(参考) 自己資本 30年10月期第1四半期 6,247百万円 29年10月期 6,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	0.00	—	4.00	4.00
30年10月期	—	—	—	—	—
30年10月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,000	16.5	350	—	330	—	200	△43.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年10月期1Q	24,650,800株	29年10月期	24,650,800株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

30年10月期1Q	52,689株	29年10月期	52,688株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年10月期1Q	24,598,111株	29年10月期1Q	24,599,091株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予想数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年11月1日～平成30年1月31日)の我が国経済は、2017年10-12月期のGDP成長率が、年率換算で実質1.6%増と8四半期連続でプラス成長となりました。米国の利上げによる懸念はあるものの海外経済は総じて順調に推移しております。国内でも企業業績は堅調に推移し、一部においては人手不足が発生し、個人消費も緩やかな回復状態にあります。

当社グループを取り巻く環境は、2017年における印刷用紙の出荷量は連続して減少するとともに、新聞折込広告費は対前年比93.7%、無料情報誌に対する広告出稿費も対前年対比94.2%と前年を下回るなど、インターネットの影響を受け引き続き厳しい状況にあります。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、デジタル印刷、当社独自のセールスプロモーション関連製品の営業に力を入れ、これらの売上は伸びておりますが、無料情報誌やチラシ等の印刷需要の落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。その結果、セグメント売上高は2,525百万円(前年同期比15.3%減)となりました。また、売上高の減少、設備投資による減価償却費の増加および物流費の増加等により、セグメント利益は12百万円(前年同期比91.0%減)となりました。

メディア事業につきましては、紙媒体広告の減少に対応する為、新たに顧客ホームページの分析やネット広告の販売、新電力会社との提携による電力販売など新規事業に取り組んでおりますが、新規事業の立ち上げ当初は外注費が増加するなどの影響により、やや計画を下回る結果となりました。その結果、セグメント売上高は564百万円(前年同期比2.3%減)、セグメント利益は57百万円の損失(前年同期31百万円の損失)となりました。

知育事業につきましては、主力商品である知育絵本が新刊需要、重版需要ともに堅調であり、新たに市場投入した新商材も引き続き好調で重版需要の他、新規引き合いも増加しております。一方、雑誌付録、販促品等は受注競争が激しく期初見込んだほどの成果は上げられませんでした。その結果、セグメント売上高は821百万円(前年同期比11.9%減)、また、単行本調整勘定の増減等により、セグメント利益は39百万円(前年同期比50.4%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,733百万円(前年同期比13.5%減)となり、営業損失は115百万円(前年同期は営業利益75百万円)、経常損失は204百万円(前年同期は経常利益112百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は203百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益90百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は15,800百万円と、前連結会計年度末に比べて652百万円減少いたしました。これは主として、受取手形及び売掛金の減少132百万円、未収入金(流動資産その他を含む)の減少456百万円、現金及び預金の増加162百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は9,548百万円と、前連結会計年度末に比べて356百万円減少いたしました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少224百万円、長期借入金の減少153百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,251百万円と、前連結会計年度末に比べて295百万円減少いたしました。これは主として、利益剰余金の減少301百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月期通期の業績予想につきましては、去る平成29年12月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,577	3,740
受取手形及び売掛金	3,416	3,284
商品及び製品	341	304
仕掛品	120	167
原材料及び貯蔵品	314	224
繰延税金資産	5	8
その他	748	271
貸倒引当金	△19	△14
流動資産合計	8,506	7,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,257	1,243
機械装置及び運搬具(純額)	837	803
土地	2,175	2,175
その他(純額)	1,450	1,495
有形固定資産合計	5,720	5,718
無形固定資産		
のれん	448	431
その他	59	58
無形固定資産合計	508	490
投資その他の資産		
投資有価証券	1,186	1,195
長期貸付金	146	142
破産更生債権等	37	32
その他	456	338
貸倒引当金	△109	△103
投資その他の資産合計	1,717	1,606
固定資産合計	7,946	7,815
資産合計	16,452	15,800

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,565	1,340
電子記録債務	1,292	1,434
短期借入金	1,180	1,079
未払法人税等	41	9
預り金	13	37
賞与引当金	92	51
返品調整引当金	32	31
その他	914	895
流動負債合計	5,132	4,881
固定負債		
長期借入金	2,600	2,447
リース債務	1,285	1,332
退職給付に係る負債	464	469
繰延税金負債	358	354
資産除去債務	29	29
その他	34	34
固定負債合計	4,773	4,667
負債合計	9,905	9,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,759	1,758
利益剰余金	2,994	2,692
自己株式	△4	△4
株主資本合計	6,417	6,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	223
繰延ヘッジ損益	—	△20
為替換算調整勘定	△76	△74
退職給付に係る調整累計額	1	3
その他の包括利益累計額合計	125	132
非支配株主持分	3	4
純資産合計	6,546	6,251
負債純資産合計	16,452	15,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)
売上高	4,314	3,733
売上原価	3,393	2,991
売上総利益	921	742
販売費及び一般管理費	845	857
営業利益又は営業損失(△)	75	△115
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	4	5
受取賃貸料	6	5
為替差益	41	—
受取保険金	0	2
その他	15	5
営業外収益合計	69	20
営業外費用		
支払利息	18	21
持分法による投資損失	4	9
不動産賃貸原価	2	2
為替差損	—	74
支払手数料	0	2
その他	7	0
営業外費用合計	32	109
経常利益又は経常損失(△)	112	△204
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	20	6
その他	0	—
特別利益合計	20	6
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	20	—
特別損失合計	21	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	112	△198
法人税、住民税及び事業税	17	3
法人税等調整額	3	1
法人税等合計	21	5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90	△203
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	90	△203

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90	△203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	23
繰延ヘッジ損益	△5	△20
為替換算調整勘定	5	△0
退職給付に係る調整額	3	1
持分法適用会社に対する持分相当額	13	2
その他の包括利益合計	102	6
四半期包括利益	193	△196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193	△196
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年1月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年1月26日 定時株主総会	普通株式	73	3.00	平成28年10月31日	平成29年1月27日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年1月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年1月25日 定時株主総会	普通株式	98	4.00	平成29年10月31日	平成30年1月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷 事業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,806	576	932	4,314	—	4,314
セグメント間の内部売上 高又は振替高	173	1	—	175	△175	—
計	2,980	577	932	4,490	△175	4,314
セグメント利益又は損失 (△)	140	△31	79	188	△112	75

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△112百万円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷 事業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,350	561	821	3,733	—	3,733
セグメント間の内部売上 高又は振替高	174	3	—	177	△177	—
計	2,525	564	821	3,911	△177	3,733
セグメント利益又は損失 (△)	12	△57	39	△5	△109	△115

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△109百万円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。